

山崎公園 季節のスケッチ 2023 - ①

シュンランが見ごろです 2023/03/30 撮影

林床のあちこちで シュンラン(春蘭) / ラン科シュンラン属 が 見ごろになりました



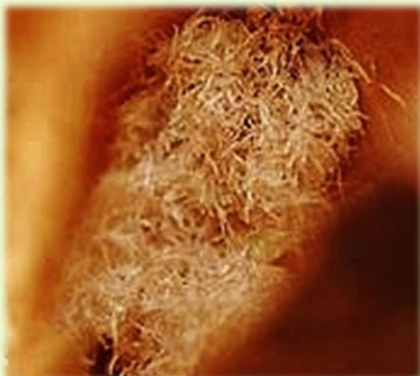
そのうち1株に 種子が飛び散ったあとの蒴果(さくか)を見つけました 右は昨年の蒴果です



毎年 多くのシュンランの花が咲きますが このような果実に気が付くのは 年に1株くらいですので 改めて シュンランの生態を調べたところ 花が咲くまでに 長い年月が掛かっていることが判りました

シュンランの種子

里山にはたくさん咲いているので 普通に生育しているものと思って いましたが これまで以上に 大切に保護・育成に努力したいと思います



- 蒴果(さくか)の中には 細かい毛のような 埃のように見える 種子が 何万個も入っており 蒴果がハジケテ飛び散る。
- 種子は 他のラン科と同様に 胚乳などの栄養を持たないので 周囲の 環境から菌類の菌糸を呼び込み 栄養素を得て成長する(腐生種)。
- 実生は直ぐには発葉して光合成をすることなく かなりの大きさになるまで 根茎の形で長期間 地下生活を送ることが知られている。
- 種子は 強い撥水性があり 洋ランと同様の培地に播いても ほとんど 発芽せず 発芽しても育苗に長年月掛かる(開花まで5~10年)。
- 園芸品として流通しているのは 野生個体の株分けが主流である。